

銃・射撃の専門誌

# GUN

Professionals



**4** April 2013

# Kelbly's & Deon



▲ケルブリーはラルフ・ストールが開発したバンダ・アクションの製造権を1981年に引き継ぎ、現在はコンペティションライフルのみならず、ハンティング&タクティカル・ライフルの分野にも進出している。またディオン光学技研のMarchの販売代理店でもある。数年前、倍率比10倍という他を圧倒するスペックでスコープ市場を仰天させたディオン光学技研は、その後、開発のターゲットを8倍比のファーストフォーカル・プレーン(FFP)スコープに移行させている。2013年の新製品はMarch

F-1-8×24mm FFPだ。低倍率エリアで使用する場合、FFPでは目盛りが細かくなって事実上、意味を成さなくなる場合がある。この問題に対し、ディオン光学技研は新開発のFMC-1レティクルに対応した。中心部分に6MILのリングを配置し、低倍率時にはドットサイトの的な使い方をできるように、そのリング部のみにイルミを組み込んでいる。動的に対応するクイック・レスポンスと、リングを6MILとしたことからくるミッドレンジにおける高い適応性、この両方を兼ね備えたスコープだ。



▲これはロングレンジ競技用Kelbly .338 Lapua Magnum。



1x



8x



▲March F-1-8×24mm FFP、極めてコンパクトだ。

# Schmidt & Bender



◀シュミット&ベンダー(S&B)も遂に高倍率比スコープの開発レースに参戦だ。3-27×56 PMIIは数字を見ても判る通り、9倍比であり、S&Bの伝統に従い、ファーストフォーカル・プレーンである。ハイパワー・ライフルに搭載し、衝撃テストをクリアすると共に25mまでの耐久テストをクリア、USSOCOMのテストを受け、既に合格している。MTCターゲットを搭載、機能面では従来PMIIに準ずる性能を持っていると考えるべきだろう。続くシュミット&ベンダーの新製品はSTRATOSシリーズで一気に3機種が登場した。1.1-5×24、1.5-8×42、2.5-13×56で概ね5倍比のパワーを持つ。イルミネーション・コントロールスイッチが独得で、デイモード、ナイトモード、リアクティベーションモードがある。アングルセンサーでon offが機能すると共に自動シャットダウン機能もある。そしてもう1機種、5-20×50 PMIIウルトラショートが加わった。高性能だが大きくて重いというシュミット&ベンダーのイメージを覆し、全長300mm、重量870gというサイズになっている。既存の5-25×56PMII/Pは417mm、1,110gだから、スペックが違うとはいえ、かなり小型化が図られている。



◀5-20×50 PMIIウルトラショート。

▶3-27×56 PMII。S&Bから9倍比FFPスコープの登場だ。

